＜様式２＞

令和３年度　さいたま市立芝川小学校　学校関係者評価書

さいたま市立芝川小学校
学校関係者評価委員長　　入 江　知 彦

１　学校関係者評価の実施体制

（１）構成人数

評議員は幼・中・高・大学の指導者や自治会長、地域関係団体、保護者代表の１０名で構成。

（２）実施回数

全体会は年間２回実施し、学校の取組や課題などについて議論した。また、議題に応じて、生徒指導や教育相談などの関係する教職員も加わり説明を受けた。

今年度も学校行事の参観や儀式への参加はできず、文書やＨＰで実態を知ることとした。

２　学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

（１）評価のねらいと方法

① 本校では、学校評価を実態把握や課題発見の重要な手段と考え、計画的に実施している。そして、緊急の課題には直ぐに取り組むとともに、結果を次年度の学校・学級経営に生かしている。

② 毎年、評価の項目や方法を精査し、教職員や保護者、児童の三者の比較や、それぞれの経年変化が分かるようにしている。また、記名式の自由記述で幅広く意見や要望を聞いている。

③今年度は、新たに児童は教育相談・対人関係、保護者と教職員には教育相談・いじめ防止、教職員には働き方改革の評価項目を加え、最近よく叫ばれている問題点の把握にも努めることとした。

（２）評価結果から

【学校生活】児童は５項目全てで、プラス評価の「４」「３」が９割を超え、学校生活に満足している。新設した相談体制やいじめの問いも「４」が７割を超え、人間関係も概ね良好といえる。

・自由記述では、個人や自分達でできる改善や取組が多く挙げられ、前向きで積極的な姿勢が伺える。

【教育活動】保護者は９つ全ての項目で、プラス評価の「４」「３」が前年同様100％に近く、高い評価を得ている。特に、保護者は全ての項目で「４」が一番多かったが、教職員は前年度や保護者と比較すると、全般的に低い評価となっている。特に、「学習指導」「生徒指導」「体力向上」「特色ある教育活動」での「４」の評価が低かった。

・保護者からはコロナ禍の中で、苦労する学校の取組や努力を理解しながら、協力し支えていこうとする姿勢がよく伺える。

・教職員は日々いろいろな制約を受ける中で、厳しい現実に直面し、努力していることが分かる。自由記述には、基本的な生活習慣の指導と環境整備の必要性を訴えるものが複数あった。他校に先駆け働き方改革の取組が進んでいるという意見もあった。

（３）保護者や評議員からの意見や要望

・学校からの情報発信がよくできている。対応が早く、内容・方法も適切で細かい配慮もされている。

・変則的な教育活動を心配し、学習指導や体力向上に関する要望が多く出されている。また、子どもにつけさせたいものとして、「豊かな心」「多様な学力」など多岐にわたって出ている。

・児童の登下校や放課後の安全確保のため、見守り活動の必要性を訴える意見が多く出ている。

・評議員会では「芝川小の子どもたちのために、学校・家庭・地域ができることは何か」について熟議したが、今後とも、学校と家庭、地域が情報を共有し、協力し合って子どもを育てていきましょう。

・ 教職員に対する感謝や激励の言葉が多く述べられていた。校長先生をはじめ教職員の皆さんが保護者や地域の方々に信頼されていることがよく分かります。これらの期待に応えるべく、教職員の皆さんは、健康に留意され職務に励んでください。

学校関係者評価を受けた学校の対応

・教育活動については、校内研修と関連付けて取り組むことで、教職員の働き方に配慮しながらも、やりがいを感じ、持続可能な実践ができるようにしていく。また、これを保護者・地域にも広報し、学校の教育活動について理解を得るとともに、信頼される学校づくりにさらに努めていく。

・児童の前向きで積極的な姿勢を生かし、「芝川小学校をよりよくしていくために」児童会を中心とした自発的、自治的な活動を促すための取組を推進していく。

さいたま市立芝川小学校長　　佐藤　利春　　印

さいたま市立芝川小学校長之印